

入出庫入力・棚卸

1.入出庫入力

倉庫別の商品在庫数を増減できます。倉庫間移動も可能です。

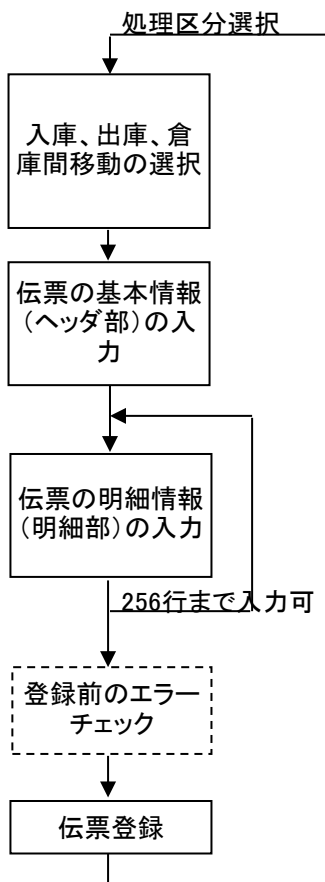
※新規登録・修正・削除、キー操作方法などは「伝票入力画面 共通基本操作」を参照してください。

Point

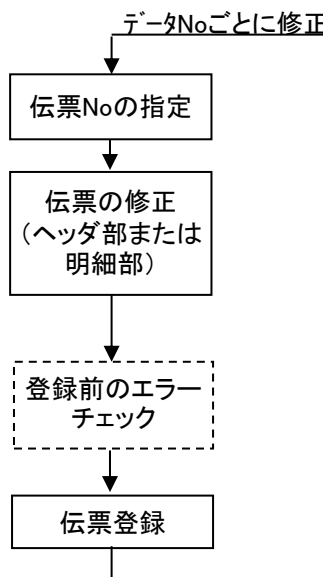
- ・入出庫入力することにより、以下の業務が可能となります。
 - ① 売掛や買掛などの発生なしで、商品の在庫数増減が可能。
 - ② 倉庫間移動による商品の在庫数増減が可能。

1) 入出庫入力の操作の流れ

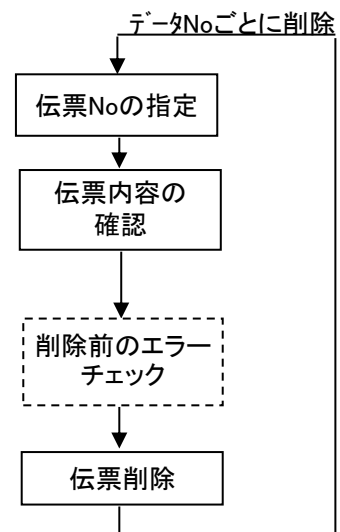
i) 新規登録



ii) 伝票修正



iii) 伝票削除



※入出庫伝票は伝票Noは重複可能ですので、同じ伝票Noが存在した場合は、伝票一覧が自動で表示されます。表示された中から対象となる伝票を選択します。

2) 基本情報(ヘッダ部) 項目の説明

入力画面の上部にある基本情報をヘッダ部と呼びます。
ヘッダ部には、1伝票共通で設定できる項目が表示され、入力することができます。

項目名称	説明
伝票No	入出庫伝票Noです。 採番管理登録の設定内容によっては重複することもあります。
処理区分	入庫、出庫、倉庫間移動から選択します。 棚卸で作成された棚卸差異伝票は自動的に出庫伝票となります。
出庫元倉庫	処理区分が出庫処理または倉庫間移動の場合に指定できます。 出庫元の倉庫を指定します。
入庫先倉庫	処理区分が入庫処理または倉庫間移動の場合に指定できます。 入庫先の倉庫を指定します。
伝票日付	伝票日付を入力。 Point ・伝票日付には、運用設定で登録した入力期間制限を越える日付は指定できません。 伝票登録時にエラーチェックされます。
出庫日	出庫する/した日を入力します。 実在庫を減らす日です。 ・出庫日には、運用設定で登録した入力期間制限を越える日付は指定できません。 伝票登録時にエラーチェックされます。
入庫日	入庫する/した日を入力します。 実在庫を増やす日です。 ・入庫日には、運用設定で登録した入力期間制限を越える日付は指定できません。 伝票登録時にエラーチェックされます。
担当者	営業担当者を選択します。 初期表示される担当者は運用設定の登録内容により異なります。 当伝票がどの事業所の入出庫であるかは、担当者が所属する事業所で決定します。 事業所名は担当者横に表示されています。 事業所は伝票ごとに保持されていますので、登録後に担当者の所属する事業所が変更となってもデータにセットされた事業所は変更となりません。
摘要コード 摘要名	摘要を指定します。 コード欄ではSpaceまたはF4キーにて摘要マスタを検索して選択可能。 摘要名は表示後に訂正可です。 Point ・摘要はマスタより選択しなくても任意の文字を直接入力することができます。 ・マスタより選択後に、摘要名を変更した場合、その内容は当伝票にのみ有効です。マスタ内容は変更されません。

3) 明細情報(明細部) 項目の説明

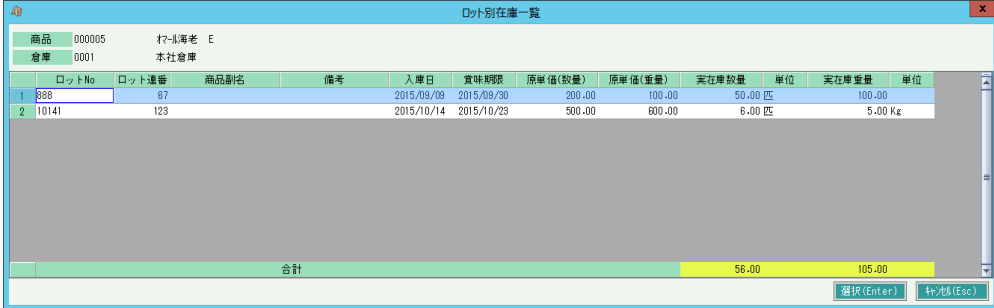
入力画面の下部にある明細情報欄の入出庫する商品が指定できる箇所を明細部と呼びます。明細部には、商品ごとに1伝票256行まで入力することができます。各行を入力すると、画面下部の計行に各項目の総計が自動計算され表示されます。

行No	削除	伝区	商品コード	商品副名	LOTNo	LOT連番	賞味期限	入数	重量	重単	重量単価	金額	備考	マウ	
			品名					ケース	入出庫数量	単位	単価				
1	<input type="checkbox"/>	入出庫	000001		9090			5	1.00 Kg		100.00				
			ママ-北海道 A			65	2015/09/24	1	5.00 匹		100.00				
2	<input type="checkbox"/>	入出庫	000002		b			2	0.50 Kg		200.00				
			ママ-北海道 B		41	2015/09/25		1	2.00 匹		200.00				
*	<input type="checkbox"/>	入出庫						0	0.00		0.00				
								0	0.00		0.00				
												0			
												合計数量	7		

明細部

計行

項目名称	説明
行No	先頭から自動で行Noが付番される。 256行まで入力可能。 「*」マークの行は、まだ何も入力されていない行。 右クリックして表示されるメニューより「倉庫別在庫一覧表」を選択すると商品ごとの倉庫別在庫一覧が表示されます。
削除 (ボタン)	入力した行を削除する場合、この削除欄にマウスでチェックを入れます。 チェックを入れると行全体がグレー背景となり入力不可となります。 その状態で伝票登録すると、自動的に行削除されます。
伝区 (伝票区分)	選択した処理区分により以下の伝票区分が自動的に指定されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・入庫 …… 入庫処理の場合に選択されます。 ・出庫 …… 出庫処理の場合に選択されます。 ・入出庫 …… 倉庫間移動の場合に選択されます。 伝区「摘要」手入力で選択して入力可能です。 摘要の場合は、任意の文字列を品名に入力可能です。
商品コード	入出庫する商品コードを入力します。コードの入力は必須です。 コードを直接手入力するか、SpaceまたはF4キーにてマスター一覧より選択することもできます。 運用設定の登録内容によっては、Spaceキーでは商品マスタにて指定された事業所を参照し、ログオン担当者の所属する事業所と同じ事業所の商品のみを一覧表示します。 F4キーでは全商品一覧です。 Point <ul style="list-style-type: none"> ・コードを入力すると、商品マスタに設定されている「品名」「品名2」「入数」「単位」「商品種別」「単価」が自動表示されます。
品名	入出庫する商品名を入力します。 新規登録では、商品コード選択時に商品マスタの商品名が初期表示されますが、表示後の訂正は可能です。 ※商品台帳や商品在庫一覧に印字される商品名は商品マスタの登録名称です。 Point <ul style="list-style-type: none"> ・品名は入力必須ではありません。 ・マスタより選択後に、品名を変更した場合、その内容は当伝票にのみ有効です。商品マスタ内容は変更されません。

項目名称	説明
品名2	<p>入在庫する商品名の補足情報を入力します。 伝区が摘要の場合は任意文字列を入力します。 商品コード選択時に商品マスタの品名2が初期表示されますが、表示後の訂正も可能です。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 品名2は必ず入力する必要はありません。 マスタより選択後に、品名2を変更した場合、その内容は当伝票にのみ有効となります。商品マスタ内容は変更されません。 品名2のタイトル名称は運用設定にて変更できます。
LOTNo	<p>LotNoを指定します。 明細行の商品のマスタで「ロット区分 = ロット商品」と登録している行のみ使用可能です。</p> <p>SpaceまたはF4キーにてロット別在庫一覧を表示します。 実在庫があるロットNoの一覧が表示されます。 一覧から入在庫するロットNo行を選択して下さい。 LOTNoの指定は必須です。LOTNoを手入力で指定することはできません。 LOTNoを指定すると、売上原単価にLOTNoの原単価が自動セットされます。</p> 
Lot連番	<p>ロット別在庫一覧から選択したLOTNoの連番が自動セットされます。 手入力不可です。</p>
賞味期限	<ul style="list-style-type: none"> 出庫入力・倉庫間移動 LOTNo入力時にロットに賞味期限があれば自動表示されます。 入庫入力 ロット商品については賞味期限を必要に応じて入力します。
入数 ケース	<p>運用設定で入数ケースを使用するに設定している場合、表示されます。 商品登録で入数を指定していれば初期表示されます。</p>
重量	<p>増減する商品重量を入力します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 重量の入力は必須ではありません。 重量による在庫管理は当システムでは行いません。 重量の小数以下桁数は、運用設定にて修正可能です。
入在庫数量	<p>増減する商品数量を入力します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 数量の入力は必須ではありませんが、在庫管理する場合は、数量入力がないと在庫の増減はされません。 数量の小数以下桁数は、運用設定にて修正可能です。

項目名称	説明
重単	商品マスタの重量単位を表示します。 変更不可。
単位	数量の単位を入力またはリストから選択します。 リストには単位マスタに登録されている内容が表示されます。 商品マスタの登録内容が初期表示されますが、変更できます。 Point ・変更した場合は当伝票にのみ有効です。商品マスタは変更されません。
重量単価	・ 出庫入力・倉庫間移動 LOTNの入力時にロットに重量単価が自動表示されます。 ・ 入庫入力 ロット商品については重量単価を必要に応じて入力します。
単価	在庫金額計算で使用する単価を入力します。 新規伝票では、商品マスタの売上原価計算法の設定に応じて、初期表示される単価が決定します。 (売上入力時の原価が、入出庫での単価となります) マイナスの入力はできません。 Point ・単価の入力は必須ではありませんが、在庫金額を管理するには入力が必要です。 ・単価の小数以下桁数は、運用設定にて修正可能です。
金額	数量 × 単価の値が表示されます。 在庫金額は入出庫明細表などに印字されます。 Point ・数量や単価を入力せずに在庫金額のみの手入力も可能です。
備考	明細行の備考として任意の文字列を入力できます。
マーク (ボタン)	マークをマウスでクリックし、チェック状態にすることで明細行にマーク(印)をつけておくことができます。 入出庫明細表の絞り込み条件にて、マーク(全て、有り、無し)を選択して出力することができます。

4) 明細情報(計行) 項目の説明

明細部の下に横並びに表示されている箇所を、計行と呼びます。
計行では入力できる項目はありません。明細部の情報を集計して、その結果を表示します。

※以下、下線(緑字)の項目は伝票機能にて、使用する、しないを選択できるものです。
詳細は「伝票機能設定」マニュアルを参照してください。

項目名称	説明
合計数量	伝票の合計数量を表示します。

5) その他補足事項

・倉庫間移動した場合は、入出庫明細表では、入庫先倉庫の明細行に「入庫」、出庫元倉庫の明細行に「出庫」として2行出力されます。処理区分には「倉庫間移動」と出力されます。
商品台帳では伝区に「入出庫」と出力されます。
また、商品在庫一覧表では、入庫数と出庫数どちらにも同じ数字がカウントされて出力されます。

・売上原価計算法で倉庫別移動平均を採用している場合、単価は以下の方式にてリアルタイム処理で計算されます。(金額は全て税抜で倉庫別に計算)

(開始残高日、開始残高数量、開始残高金額は「システム管理」-「倉庫別商品登録」にて登録します。)

① 発生数量、発生金額の決定

発生数量 = 開始残高日から期間開始日までの入出庫数計
発生金額 = 開始残高日から期間開始日までの入出庫金額計

② 倉庫別移動平均単価の決定 員数の場合

倉庫別移動平均単価 = (開始残高金額 + 発生金額) / (開始残高員数 + 発生員数)

※小数以下の端数は商品マスタの金額端数設定に従う。

※倉庫別移動平均単価や最終仕入単価が0の場合は、標準原価単価が採用される。

※倉庫間移動の場合は、出庫元倉庫の金額が採用される。

2. 棚卸入力

実地棚卸数を倉庫別の商品別に入力できます。

Point

- ・棚卸入力した内容は商品台帳や棚卸リストで確認できます。
- ・登録した棚卸伝票は入出庫入力より修正することができます。
- ・差異数量≠0の商品のみ登録されます。
- ・商品マスタのロット区分=ロット商品となっている商品は棚卸入力の対象外となります。

1) 棚卸入力手順

- ① 棚卸を実施する倉庫を選択します。
- ② 商品を抜粋する場合、その範囲を指定します。
- ③ 棚卸日を年月日で指定します。

Point

- ・棚卸日には前回棚卸日より前の日付は指定できません。
- ・決算日の日付部分と棚卸日が異なる場合(決算日が月末で棚卸日に20日などを指定した場合)、警告メッセージが表示されます。

- ④ Enterキーにて指定した条件の全商品の一覧が表示されます。
(商品数が多い場合、表示されるまで長時間かかる場合があります)

商品コード	品名	商品別名	単位	帳簿在庫数量	実地棚卸数量	差異(出庫)数量	棚卸評価法	備考	マーク
416 001013	骨なしたち魚		ヶ	0.00	0.00	0.00	最終仕入		
417 001014	焼目入りハンバーグ		本	0.00	0.00	0.00	最終仕入		
418 001015	たれ付焼鳥もも肉		缶	0.00	0.00	0.00	最終仕入		
419 001016	アワビ缶		P/C	0.00	0.00	0.00	最終仕入		
420 02-01-01	エビA		匹	60.00	60.00	0.00	標準原価		
421 02-01-02	エビB		匹	60.00	60.00	0.00	標準原価		
422 02-01-03	エビC		匹	60.00	60.00	0.00	標準原価		
423 02-01-04	エビD		匹	50,000.00	50,000.00	0.00	標準原価		
424 105	イカ		Kg	0.00	0.00	0.00	標準原価		
425 2052	テスト商品2	倉庫別移動平均		100.00	100.00	0.00	倉移動平均		
426 4032	通常商品AA			0.00	0.00	0.00	標準原価		
427 6	通常商品		個	0.00	0.00	0.00	標準原価		
428 9300	ヘルメット	標準原価	個	18.00	18.00	0.00	標準原価		
429 9301	バケツ	最終仕入	個	386.00	386.00	0.00	倉移動平均		

- ⑤ 担当者は、倉庫マスタで指定されている担当者が初期表示されますが、変更可能です。
担当者はシステムが自動で作成する棚卸伝票の主担当者となり、入出庫伝票と同様、この担当者の所属する事業所が、棚卸データの事業所の判別に使用されます。
- ⑥ 一覧には倉庫別の商品が表示されます。
実施棚卸の結果が、帳簿在庫数と異なる場合のみ、「実地棚卸数量」列に数値を入力してください。
入力した結果から棚卸差異数が自動計算され、差異の分だけ、棚卸伝票が自動で作成されます。
すべて出庫伝票で作成されます。差異数量が 20だった場合、20の出庫伝票が作成されます。
- ⑦ 実施棚卸金額は実施棚卸数量と在庫単価より自動計算されますが、修正は可能です。
- ⑧ 必要に応じて備考欄を入力します。備考欄の文字は商品台帳に印字されます。
※備考欄およびマークは差異(出庫)数量≠0の場合のみ入力できます。
- ⑨ 更新ボタンにて棚卸終了です。

※棚卸伝票は、差異の数値を出庫データとして作成します。
棚卸伝票の修正、削除を行う場合は、入出庫伝票から該当の伝票を呼び出します。

2) 棚卸入力の補足事項

・在庫単価は商品マスタの棚卸評価法により自動計算されます。
棚卸評価法で倉庫別移動平均を採用している場合、単価は以下の3段階方式にてリアルタイム処理で計算されます。(金額は全て税抜で倉庫別に計算)
(開始残高日、開始残高員数、開始残高金額は「システム管理」-「倉庫別商品登録」にて登録します。)

① 発生数量、発生金額の決定

$$\begin{aligned} \text{発生数量} &= \text{開始残高日から期間開始日までの入出庫数計} \\ \text{発生金額} &= \text{開始残高日から期間開始日までの入出庫金額計} \end{aligned}$$

② 倉庫別移動平均単価の決定

$$\text{倉庫別移動平均単価} = (\text{開始残高金額} + \text{発生金額}) / (\text{開始残高数量} + \text{発生数量})$$

※小数以下の端数は商品マスタの金額端数設定に従う。

※倉庫別移動平均単価や最終仕入単価が0の場合は、標準原価単価が採用される。

・棚卸差異が0となっている行は棚卸伝票は作成されません。

・棚卸した場合、商品台帳の伝区には「棚卸差」と出力されます。

・棚卸した場合、商品の数量や在庫金額は、棚卸の結果が強制的にセットされます。
在庫数・在庫金額計算に棚卸日から棚卸の数値で再スタートとなります。

ただし、棚卸後に棚卸日以前の売上、入出庫伝票などを修正し在庫数に変動した場合は数量を確認して、必要であれば再度棚卸入力を実施する必要があります。

・ある倉庫の商品を抜粋して例えば2月末で棚卸した場合、同一倉庫にあるその他商品は1月以前で棚卸日で棚卸ができません。(前回棚卸日と同一日以降なら棚卸可能です)